

# 「ぬまた未来創造学」

～ふるさとの未来を担うたくましい  
ひとづくり・まちづくり～

沼田市教育委員会では、地域を愛し親しむ心、地域を誇りに思う心を育むために、自分が生まれ育ったふるさと沼田を知り、よさを学ぶ「ふるさと学習『ぬまた未来創造学』」を推進していきます。教科等で学んだことや学校生活で身に付けた力をいかしながら、「総合的な学習の時間」に地域をフィールドとし、地域と協働して、ふるさと沼田の未来と自分の将来・生き方について考えます。また、学校と地域が互いにパートナーとなる「コミュニティ・スクール」の機能をいかして、子供の郷土愛を育みます。

ふるさとの自然、歴史、産業、人情、まちづくりの様子などを、地域にある資源と地域の人にふれながら体験的かつ探究的に学ぶことで、子供たちの自己有用感を高め、生きる力を育む教育を推進します。

### 「ぬまた未来創造学」の目指す人間像 4つの視点【親しむ・考える・行動する・生きる】

- 沼田に誇りと愛着をもち、ふるさと沼田の資源をいかし、継承・発展させようとする意欲や態度を身に付けた人間
- 自律し、社会の変化に対応しながら、ふるさと沼田の新たな価値を創造することができる人間
- 自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたり、ふるさと沼田を思い、意思疎通を図り、様々な場面で協働し、支えていくことができる人間
- ふるさと沼田に根ざして、**共育**の視点で考え行動できる人間  
(※共育・・・子供も大人も、学校も地域も、共に学び成長する)

**学校** 幼稚園

**創造** 課題解決のために、知識や技能、情報等を活用し、新たな価値や取組を生み出す

**協働** 同じ目標に向かい、相手の立場に立って物事を考え、協力し合って行動する

**意思疎通** 多様性を尊重し、伝え合うことを通して、お互いの理解や共通認識を深める

**保護者（家庭）**

**地域（社会）**

**関係機関**

## 幼稚園

○地域の特色をいかした遊び  
○身近な自然や文化・伝統に親しむ遊び

### 環境

幼 沼田で遊ぶ

テーマや学年は参考例であり、学校の実態に応じて計画や配列を工夫する。

- ・心揺さぶるワクワク感動体験（自然・人・動植物とのふれあい、木育※森林文化都市）
- ・家庭と連携した読書活動の推進（家族で本を読みましよう）（読み聞かせ）

地域について知る・親しむ

### 地域とともにある学校づくり

○地域の自然、文化・伝統に親しむ機会の提供、支援、協力

## 小学校

【1・2年生】  
○生活科  
○特別活動  
○特別の教科 道徳

【3～6年生】  
○社会科  
○特別活動  
○特別の教科 道徳  
○総合的な学習の時間

### 生活科

小1・2 沼田に親しむ

(例) 市が地元企業と連携し、栽培・飼育はできるようにしておき、実施の判断は学校が行う

- ・トマトやキノコ等の栽培、1億円体験等の金融教育 ※CS制度の活用
- ・カブトムシやクワガタムシ等の飼育
- ・「沼田市ずかん」を活用した食育
- ・「きりえ沼田かるた」の活用
- ・「小学校伝統芸能教室」の実施（小1～3）

自分の住む地域のすばらしさや魅力を知り、体験することで、地域への愛着をもつ。

【親しむ】

### 社会に開かれた教育課程

【コミュニティ・スクール(CS)】  
学校、保護者、地域の方などが、○教育の当事者になることで、責任感を持ち、積極的に子供の教育に携わる。  
○学校運営や教育活動に参画することで、子供たちの学びや体験を充実させるとともに、大人の自己有用感や生きがいにつながる。  
○顔が見える関係となり、保護者や地域の方の理解や協力を得た学校運営を推進する。

○地域について学ぶ学習（登山・遠足などの体験、職場見学など）への協力

○学校支援（読み聞かせ、挨拶運動、学習支援、花壇等の整備、登下校の見守りなど）

○地域行事への児童の参加促進（沼田まつり、沼田花火大会などの行事、伝統文化、芸能などの継承）

○「森林文化都市宣言」に基づき、豊かな自然と共存する文化のかおり高いまちづくりへの参画

○リーダーの育成（「子ども議会」、育成会など）

### 総合的な学習の時間等

探究的な学習の実践

課題の設定  
↓  
情報の収集  
↓  
整理・分析  
↓  
まとめ・表現  
↓  
振り返り・改善

探究的な学習とは、上記のような問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく一連の学習活動

小3 地域（学区）を知る

小4 沼田を知る

小5 「人」を知る

小6 自分を知る

中1 沼田の魅力に関わる

中2 沼田で仕事に関わる

中3 沼田の課題に関わる

【考える】

自分の住む地域や沼田市について体験的に学ぶことで、ふるさとの魅力を実感し、自分のできることを考える。

沼田 スピリット

地域のために行動・貢献する

### 地域学校協働活動

【地域学校協働活動】  
保護者、地域住民、関係機関、民間企業、NPO法人、各種団体等の参画を得て、学校と相互にパートナーとして連携・協働して、未来を担う子供たちの学びと成長を支える。

○地域について学ぶ学習、キャリア教育（職場体験など）への協力

○学校支援（学習支援、挨拶運動、体験教室講師など）

○リーダーとなる子供の育成（「子ども議会」、育成会、ジュニア・リーダー部など）

○生徒のまちづくりへの参画機会の提供と協力（地域にかかる体験的・探究的な学習、地域の特産品づくりなど）

## 中学校

○社会科  
○特別活動  
○特別の教科 道徳  
○総合的な学習の時間

中1 沼田の魅力に関わる

中2 沼田で仕事に関わる

中3 沼田の課題に関わる

【行動する】

地域社会や地元の職場に対する理解を深める中で、自分の生き方を考えるとともに、ふるさとの課題解決のために自分でできることを考え行動する。

地域のために行動・貢献する

### 学校を核とした地域づくり

○地域貢献活動の実施、協力（地域のイベント、清掃活動、ボランティア活動など）

## 将来

○卒業（進学）後・・・  
夢や希望に向かって果敢にチャレンジし、将来、沼田市に貢献する気概をもつ人間に成長

※非認知能力は、主に、意欲・意思・社会性に関わる3つの要素（①自分の目標を目指して粘り強く取り組む ②そのためにやり方を調整し工夫する ③友達と同じ目標に向けて協力し合う）からなる。

### キャリア教育の視点

〈文科省・国研〉

- 人間関係形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力

〈ぬまた未来創造学〉～非認知能力の育成～

- 人とつながる力：自己表現、コミュニケーション、リーダーシップなど（協調・連携・協力）
- 夢や目標を育む力：自己理解、プラス思考、主体性、継続性、プランニング、情報収集など
- やり抜く力：忍耐力、実行力、課題把握、向上心など
- 職業に興味・意欲をもつ力：働くことの意義や役割の理解など
- 沼田愛：郷土愛、当事者意識など

### 【生きる】

ふるさと沼田に誇りをもち、これからの沼田市の未来を考え、貢献しようとする意欲を高める意思をもち、地域社会における自らの役割や未来の生き方を確立する。

支援